

広報

10

2005/October
No.7

しおばら

Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

実りの秋
収穫の秋

今月の主な内容

- 基礎基本定着状況調査…………… 2
- 市民の皆さんが満足できる行政運営に向けて… 6
- 庄原市名誉市民の皆さん…………… 8
- 応援します！あなたの子育て…………… 9
- 広島県知事選挙…………… 10
- ごみの放置・ポイ捨てはやめよう…………… 11
- 広島県大型観光キャンペーン実施中…………… 12
- 安心・安全な毎日のために…………… 14
- ぐるり庄原カメラレポート…………… 15
- お知らせ…………… 18
- まるごと「しょうばら」見る・食べる・遊ぶ…………… 24



秋晴れのもと
真っ赤なりんごを収穫
(高野地域)

確かな学力の定着に向けて

基礎基本定着状況調査

県では、子どもたちの確かな学力定着に向けて、県内の児童、生徒を対象とした「基礎・基本定着状況調査」を実施しています。今年6月14日に実施され、各学校では結果をもとに指導の充実に努めています。

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

基礎基本定着状況調査とは

今年で4回目となるこの調査は、「読み、書き、計算」などの基礎的な内容とともに、思考力・判断力・表現力などの定着状況を把握して、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることが目的です。対象となるのは、県内の

小学校5年生約27,700人(国語・算数)と中学校2年生約24,700人(国語・数学・英語)。市内でも31校393人の小学校5年生、8校344人の中学校2年生が参加しました。

通過率で各教科の結果を分析

市内小中学校の教科ごとの通過率(※)については、表のとおりです。

教科全体、あるいは各分野の状況を、県平均と比較・分析し、これまでの取り組みの成果や今後の課題などを見ていきます。

※「通過率」：正答者数を調査対象者数で割った百分率。



▶各部会で教科の成果や課題を研究

小学校算数

国語と同様、教科全体の通過率をはじめ、全ての領域において県平均を上回ることができました。

昨年まで課題となっていた点を研究主題として取り上げ、具体的な数値目標を掲げて取り組んだ学校もあり、研修や指導方法の工夫改善などの成果が現れていると考えられます。

しかし、子どもたちの実態を細かく見ると、図形の理解に課題があることがわかります。例えば、コンパスで円を描くことが苦手、あるいは直径・半径といった概念が理解できていないケースも見られます。

図形・作図の操作活動を積極的に取り入れ、子どもたちの理解の程度に応じたプリント学習

15×15
=225



などを継続的に実施し、学習していくよう取り組んでいきます。

また、すでに学習していることでも、つまずいた部分があれば、その学年にさかのぼって学習し直す活動も取り入れなければなりません。

平成17年度通過率

●小学校算数 (単位:%)

	教科全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係
庄原市	86.9	85.8	88.7	85.5	87.7
広島県	80.0	78.8	83.0	78.9	79.8

小学校国語

教科全体の通過率をはじめ、全ての領域において県平均を上回っています。

しかし、聞くこと・読むことの学習については取り組むべき課題が多く残されています。

聞くことについては、メモをとりながら聞くことを指導していますが、

細かな内容について理解しながら聞くことが定着していない実態があります。これに対しては、全校放送を行い全校でメモをとる活動や聴写(聞いたことをそのまま書く)の活動など、各学校で取り入れられる活動を工夫しながら実施していくよう取り組んでいます。

読むことについては、長文を読んで場面の移り変わりを判断する、また段落相互の関係を考

える問題の通過率が低くなっています。子どもたちにさまざまな本にふれる機会をつくりながら読書の時間を充実させ、段落相互の関係の理解を深める取り立て学習を導入するなど、指導の工夫をしていきます。



平成17年度通過率

●小学校国語 (単位:%)

	教科全体	聞くこと 話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
庄原市	81.2	78.6	82.5	67.5	91.8
広島県	75.3	70.8	77.0	62.4	86.1

中学校国語

聞くことに関しては県平均を上回りましたが、教科全体および書くこと、読むこと、言語事項が県平均をやや下回りました。生徒の意識・実態調査を見ると、「国語の授業はよくわかる」という項目において、県平均が64.4ポイントに対して、庄原市は55.5ポイントと大きく隔たりがあり、通過率との関連をもとに学習のあり方について検討していかねばなりません。

今後は、ゲームの要素を取り入れた学習活動を通して生徒の興味・関心を高めながら、話す・聞く・読む・書くといった活動をより積極的に取り入れた授業づくりを検討していきます。

聞くことについては、県平均を上回ったものの、

通過率が50%代であったことから、相手の話を聞いて大事な部分をメモしたり、内容の構成を考えたりすることが定着していないという実態があります。



平成17年度通過率

●中学校国語 (単位:%)

	教科全体	聞くこと 話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
庄原市	72.1	54.8	83.5	62.6	76.6
広島県	73.0	50.4	84.2	64.4	78.1

生活と学習に関する意識・実態調査

●小学校

「国語の授業で辞書を使うのが好き」という項目が県平均とやや開きがありますが、他の項目は県平均と同等の数値で推移しています。

分かるまで努力しようとする意志や、ねばり強く取り組もうとする態度が定着してきており、このことと、通過率がよく推移していることに相関を見ることが出来ます。

児童が「わかった」と思える体験を積み重ねることで、ねばり強さをさらに育成していくサイクルを確立したいと考えています。

●中学校

「朝食を毎朝とる」項目以外は県平均を下回っています。「わかるまで努力する」、「苦手な教科もできるようにになりたい」、「進んで勉強する」といった意欲・態度についての数値が低くなっています。「国語の授業はよくわかる」と、「英語の授業はよくわかる」が県平均との開きがあると共に、約半数の生徒しかかわかると感じていない実態があることから、「わかった」と思う体験を味わわせながらねばり強く物事に取り組む態度の育成を共通の課題として検討していく必要があります。

◎各教科の通過率との間に高い関連があると考えられる項目

小学校

(単位:%)

項目	庄原市	県平均
朝食を毎朝とる	96.9	96.1
わかるまで努力する	76.1	74.2
最後までやり遂げうれしかったことがある	90.3	90.9
習ったことを生活の中で利用している	77.4	77.9
国語の授業はよくわかる	73.0	72.1
国語の授業で説明や報告するとき組み立て方を考えて書いたり話したりするとよくわかる	69.7	71.4
国語の授業で気持ちを思い浮かべて読むとよくわかる	77.6	78.3
国語の授業で辞書を使うのが好き	66.2	70.2
算数の授業がよくわかる	80.4	77.9
算数の授業で解き方を考えるとよくわかる	75.6	76.4

中学校

(単位:%)

項目	庄原市	県平均
朝食を毎朝とる	94.2	92.7
わかるまで努力する	49.7	53.1
最後までやり遂げうれしかったことがある	86.3	88.0
苦手な教科もできるようにになりたい	59.9	62.0
進んで勉強する	27.0	29.8
授業中に先生の話で大切・必要だと思ったことはノートに書く	63.4	67.6
国語の授業はよくわかる	55.5	64.4
国語の授業で気持ちを思い浮かべて読むとよくわかる	58.4	70.3
数学の授業はよくわかる	64.2	65.5
数学の授業で解き方を考えるとよくわかる	61.9	66.6
英語の授業はよくわかる	54.7	60.0
英語の授業で単語や文法練習等の繰り返し学習が好き	49.7	51.4
英語の授業でロールプレイやペアワークなどを行うとよくわかる	50.0	53.7

学校へ行こう
週間

11月1日(火)
~7日(月)

この検討委員会は、庄原市内の児童生徒の学力向上を図るために発足しましたが、新市でもその取り組みを継続しており、基礎基本定着状況調査などの結果を基に課題を明らかにし、今後の授業改善に生かすために研修を重ねています。

今回は、小学校3部会と中学校各教科の部会で集まり、調査結果を分析・協議し、各学年や教科での課題を確認しました。

今後は、これらの課題の解決のために各学校が全職員の共通認識のもと授業改善に取り組み、児童生徒一人ひとりが夢や希望をもつて未来を拓く確かな学力を育めるようさまざまな取り組みを進めていきます。

庄原市児童生徒学力向上
検討委員会
会長 曾利 晋三

確かな学力を
育むために

中学校数学

$$y=ax^2$$



「数と式」では、「事象の中の数量関係について文字を使って表す」問題は県平均を上回っていますが、分数や減法など基本的な計算でつまづいている実態もあります。

「図形領域」については、「垂直二等分線の作図」の問題は県平均と比べても高い正答率でしたが、「おうぎ形の弧の長さ・円柱の体積を求める問題」では無回答の生徒も多く、確実に理解できるようにしなければなりません。

「数量関係」は、苦手と感じている生徒が多い分野で、中でも「反比例の表を完成する・グラフを判断する」問題の誤答が多くみられました。関数の具体的な事象をイメージして捉えられるように、内容の幅を広げた復習を行う必要があると考えています。

これらの分析結果を踏まえ、今後は次のようなことを重点に取り組みを進めていきます。

● 授業や家庭学習の中で、継続的に復習できるように工夫する

● 授業の単元やテスト終了時な

どに、自己評価を取り入れる

● 教員の複数指導や少人数指導を効果的に活用して、指導をより効果的に行う

● 学習内容に応じて積極的に具体物や具体例を取り上げ、操作活動を取り入れたり、日常生活と結びつけて考えたりしながら、理解を深められるような授業を展開する

● 小学校の学習内容との関連を配慮した指導に取り組む

また、生徒たちの分かったという願いに込められるように、考えることや表現することに喜びや興味をもてる学習を進めていきます。

平成17年度通過率

中学校数学

(単位:%)

	教科全体	数と式	図形	数量
庄原市	69.5	76.4	68.1	53.6
広島県	70.5	77.8	66.8	56.9

中学校英語

practice speaking English...



「聞くこと」、「話すこと」については、これまでの指導の成果が表れつつありますが、「書くこと」については課題が明らかになりました。

生徒のコミュニケーションを続けようとする意欲・関心は高く、通過率は県平均を上回る98・3%を達成しています。この意欲をもとに、正確に伝えたり表現豊かに話すための語彙力や文法の力を養っていく必要があります。

「読むこと」については、長文を読んで、大切な内容を読み取ったり、会話を組み立てていく問題が出題されました。「聞く」「話す」力に比べて通過率が低く、長文を読む力を伸ばしていく必要があります。

最重要課題は「書くこと」です。この調査で求められている「書く」力は、ただ単語を書いたり、日本語を英語に直すといったものではなく、総合的な力です。場面の状況を判断し、考え、場面がつながるように文章を書かなければなりません。

ればなりません。「読む」領域での会話を組み立てていく問題とも重なります。

このような力は、英語学習において最も高度なことです。「聞く」「話す」力をベースに、声に出して「読む」活動を大切にしなから、「書く」ことを重点的に指導していきたいと考えています。

具体的には、1年生の学習内容から「自己表現プリント集」を作り、市内全中学校で授業や宿題として取り組みます。

また、英語担当教員も積極的に研修を積んで授業力向上を図っていきます。

平成17年度通過率

中学校英語

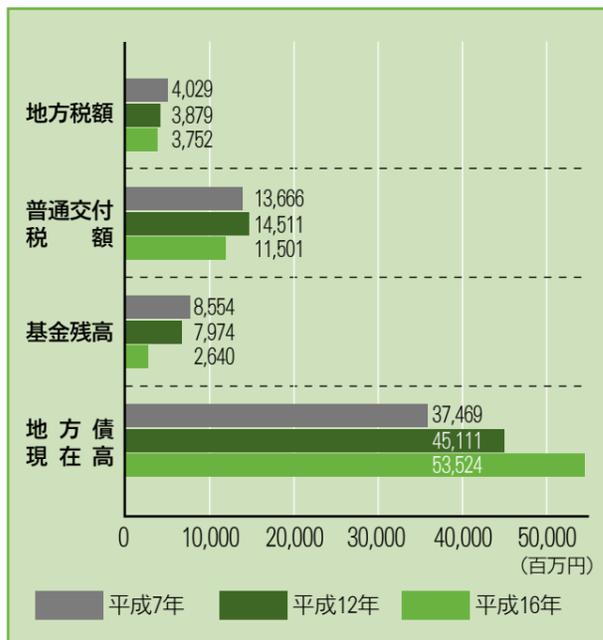
(単位:%)

	教科全体	実技	聞くこと 話すこと	読むこと	書くこと
庄原市	74.0	87.8	83.1	70.9	54.7
広島県	77.8	85.8	86.0	76.1	62.1

市民の皆さんが満足できる行政運営に向けて

庄原市は、3月31日、行政にとって最大の改革ともいえる市町村合併を実現し、新たなスタートを切りました。しかし、過疎化・少子高齢化の進行や、三位一体改革の影響などによる厳しい財政状況など、依然として多くの課題が残っています。

こうした課題に対応し市民の皆さんに満足いただける行政運営を目指し、行政経営改革大綱の策定に着手しました。



【庄原市の財政状況】
歳入としての地方税、普通交付税は、横ばいあるいは減少傾向にあり、貯金としての基金は大幅に減少しています。一方、借金である地方債は増加を続けるなど、非常に厳しい財政状況となっています。

市民一人当たりで見ると…
(平成16年度末人口 44,151人)

主な収入
地方税額 84,973円
普通交付税額 260,481円

基金残高(貯金) 59,806円

地方債現在高 1,212,288円

借金

【行政経営改革に向けて】
こうした中で、市では平成17年度から平成21年度までの5年間を対象とした、行政運営の改革計画「庄原市行政経営改革大綱」を策定することとしています。この大綱策定には、次の基本方針・視点を以って取り組みます。

基本方針

① 顧客志向の推進
「同じサービスであれば、コストを削減」、「同じコストであれば、サービスを向上」することを基本に、「行政サービスの向上と行政コストの削減」を実現することにより、市民の皆さんの満足度の向上(しあわせづくり)をめざします。

② 成果志向への転換
市民の皆さんを納税者・出資者として捉え、行政サービスによってどのような成果・効果が得られたか、また得られるのかを明確に示すことにより、限られた財源を有効に活用する。

③ マネージメント発想の導入
市民の皆さんを行政サービスの担い手になり得る人的資源としても捉えながら、行政サービスを誰が、どのような方法で行うか検討し、最適な方法を導入する。

視点

行政運営に民間の経営管理手法を活用した行政経営改革を推進します。

① 顧客志向の推進
市民の皆さんを行政サービスの受け手である顧客として捉え、顧客ニーズを把握



行政経営改革 審議会の設置

行政経営改革大綱の策定に向け、庄原市行政経営改革審議会を設置し、8月29日(月)には、第1回の会議を開催しました。

この審議会は、市長の諮問に応じ、市が取り組むべき行政課題、改革の方向について審議いただく組織で、学識経験者、各地域の自治振興区連絡協議会の代表者、および公募委員で構成されています。就任された委員の皆さんは、下表のとおりです。

第1回審議会

市長から委員の皆さんへ委嘱状が交付され、会長、副会長を選出後、市長から会長へ諮問書が手渡されました。続いて、財政状況をはじめとする市の概要や大綱策定の基本方針、審議項目などを事務局から説明し、個別審議項目「公の施設の管理運営形態の見直し(指定管理者制度の導入)」の提案、審議が行われました。

※第1回審議会の会議の概要、資料などは、市ホームページへ掲載しています。

庄原市行政経営改革審議会名簿

分野	氏名
地域自治振興区連絡協議会からの代表者	庄原地域 ○永井 忠司
	西城地域 主田 重登
	東城地域 高藤 幸盛
	口和地域 渋川 静真
	高野地域 馬船 輝雄
	比和地域 田中 稔
学識経験者	◎吉川 富夫
	菟原 元樹
	永迫 眞二
	池田 怜
	尾野 素子
公募委員	小林 富子
	松本 千工
	吉田 昭

◎:会長 ○:副会長

■問い合わせ
企画課企画調整係 / ☎0824-73-1128

長期総合計画へ皆さんの提案を 地域ワークショップ会員募集中

ワークショップとは、参加者同士がアイデアを出し合い、意見交換を行ってグループでの提案を取りまとめる手法です。

市では、こうした特性を活かし、地域ごとにワークショップを設置して市民の皆さんのアイデアや提案を長期総合計画の中に反映させ、楽しく夢の持てるまちづくりを進めていきたいと考えており、会員の2次募集を行います。

■設置:地域ごとに設置します
■対象者:各地域内に住所のある方
■会議回数:年3回程度
■募集人数:地域ごと10人程度
■応募方法:所定の応募用紙に必要事項を記入して、郵送、ファックス、電子メールまたは、持参により提出してください。応募用紙は、企画課、各支所地域振興課にあります。また、市のホームページから取り出せます。

■応募期間:10月31日(月)必着
■その他:謝金、旅費等の支払いはありません。応募の際に寄せられた個人情報、本目的以外に使用することはありません。

■応募・問い合わせ

庄原地区 企画課企画調整係
〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号
☎0824-73-1128 Fax0824-72-3322

西城地区 西城支所地域振興課
〒729-5722 庄原市西城町大佐737番地3
☎0824-82-2121 Fax0824-82-2083

東城地区 東城支所地域振興課
〒729-5121 庄原市東城町川東1175番地
☎08477-2-5211 Fax08477-2-5000

口和地区 口和支所 地域振興課
〒728-0502 庄原市口和町向泉942番地
☎0824-87-2111 Fax0824-87-2057

高野地区 高野支所 地域振興課
〒727-0402 庄原市高野町新市1171番地1
☎0824-86-2111 Fax0824-86-2062

比和地区 比和支所 地域振興課
〒727-0301 庄原市比和町比和1119番地1
☎0824-85-2111 Fax0824-85-2139

総領地区 総領支所 地域振興課
〒729-3703 庄原市総領町下領家280番地1
☎0824-88-3060 Fax0824-88-2978



庄原市名誉市民の皆さん

8月の臨時議会で、「庄原市名誉市民に関する条例」が議決され、合併前に名誉市民・町民の称号を贈っていた庄原市名誉市民、西城町名誉町民および総領町名誉町民に、新庄原市名誉市民の称号を贈ることとなりました。

新市の名誉市民となられたのは、次の4人の方です。



西田 修一さん

(旧庄原市名誉市民)

明治34年6月15日生まれ
(昭和53年12月19日没)

昭和17年に庄原町議に初当選後、昭和24年には庄原町長、昭和26年からは広島県議会議員として、通算36年もの長い間地方政界で活躍された。その間、広島県議会議長、全国都道府県議会議長会会長等の要職に就かれ、地方および地方議会発展に尽力された。特に、昭和42年には広島県内陸部開発協議会の設立を提唱され、自ら会長に就任して南厚北薄の県政の是正や、内陸部が抱えている深刻な過疎問題の解消に心血を注がれた。



永山 忠則さん

(旧庄原市名誉市民)

明治30年10月14日生まれ
(昭和59年6月13日没)

敷信村長、県議会議員、衆議院議員を経たのち、昭和29年5月旧庄原市初代市長に就任、その後、再び衆議院議員となり、昭和11年2月から通算11期32年間在職された。昭和40年には、自治大臣、国家公安委員長に就任。50数年間の政治活動の中で、公共の福祉の増進、また、農村出身議員として、農村に暮らす人たちの生活向上のための政策推進に尽力された。



山口 信夫さん

(旧総領町名誉町民)

大正13年12月23日生まれ

総領町稲草に誕生し、東京商科大学(現一橋大学)を卒業後、旭化成工業株式会社(現旭化成株式会社)に入社され、平成4年4月から同社代表取締役会長として現在に至っておられる。平成13年7月には、日本商工会議所会頭並びに東京商工会議所会頭に就任され、その他政府、産業経済界の数々の要職に就かれ、日本の発展に広く貢献されている。



宮田 武義さん

(旧西城町名誉町民)

明治24年12月14日生まれ
(平成4年11月10日没)

西城町油木に誕生、中国上海東亜同文書院に学び、書の道を窮められるとともに、帰国後東京丸の内中国料理店「山水楼」を創業された。皇室を始め、ノーベル賞作家川端康成氏、版画家棟方志功氏など多くの文化人、また政財界人など幅広い交流の中で、愛郷の念ひとしお深く、比婆山伊邪那美命御陵伝説地の顕彰、比婆・道後・帝釈国定公園の指定、県民の森開発、東京西城会の設立などに尽力された。晩年には愛蔵の貴重な書画多数を西城町に寄贈された。

子育て支援センターを紹介します

Vol.2

応援します！ あなたの子育て

西城子育て支援センター「キッズルームひよこ」

西城保育所内にある「キッズルームひよこ」は、子育て家庭の皆さんや、保育所の子どもたちとのふれあいの場です。

また、人や自然との出会いを広げるために、地域の遊び場へも積極的に出かけたいです。西城地域外の方もお気軽にお越しください。

開設時間

月曜日～金曜日
8時30分～17時15分
(土・日・祝日は休み)

子育て相談

月曜日～金曜日
9時～17時

主な活動内容

●キッズルームひよこ
毎週金曜日10時～12時

リズムあそび、お話の会、保育所行事への参加など、毎回楽しいメニューがいっぱい。
●ファミリーサポート事業
育児を手伝ってもらいた



岡田美智子さん

渡部 彰子さん

笑顔あふれる子育てを

保育所や「ひよこ」の明るくかわいい子どもたちから、いつも元気もらっています。ここでの出会いが子育てをより楽しめるきっかけになるよう、多くの楽しい行事を提供し、子育て家庭の元気のもとに、また笑顔あふれる場所にしていきたいと思っています。



問い合わせ

西城子育て支援センター
「キッズルームひよこ」
☎0824-82-3003

い方、応援したい方が会員登録をして、相互支援活動を行います。
●子育て通信の毎月発行

新市の誕生を祝う 合併記念式典 を開催

3月31日に1市6町が一つになった新市の誕生を記念し、9月25日(日)、市では市民会館で合併記念式典を開催しました。

当日は、来賓や関係者600人あまりが参加し、芙蓉会の琴の演奏と、スライドを使った旧市町の紹介で開会。滝口市長が式辞を述べた後には、4人の名誉市民の方(前ページに掲載)の紹介や、合併に功労のあった方の総務大臣表彰も行われ、盛大な会となりました。

総務大臣表彰受賞者の 皆さん(敬称略)

- 滝口季彦(庄原市長)
- 田盛敬三(旧西城町長)
- 遠藤晏史(旧東城町長)
- 盛谷 強(旧口和町長)
- 藤原公昭(旧高野町長)

- 富原豊幸(旧比和町長)
- 山地康生(旧総領町長)
- 片山孝昭(旧庄原市議会議長)
- 堂本時和(旧西城町議会議長)
- 内藤巖夫(旧東城町議会議長)
- 藤田 泰(旧口和町議会議長)
- 加島英俊(旧高野町議会議長)
- 實延 博(旧比和町議会議長)
- 依 壯太(旧総領町議会議長)



多くの方が来場されました



ステージに並ぶ受賞者の皆さん

「広島県知事選挙」

投票日 11月6日(日)

広島県の「明るい未来を」この「一票で」

【任期】

期満了による広島県知事選挙が、10月20日(木)告示、11月6日(日)投票の日程で行われます。

この選挙は、広島県の進むべき方向を決定する県政の舵とり役を選ぶもので、県民一人ひとりの暮らしにつながる身近で重要な選挙です。住みよい広島県を築くため、投票日には必ず投票に行き、貴重な一票を投じましょう。

【投票日時】

11月6日(日)の7時から20時まで。ただし、市内79個所の投票所で投票時間を1〜3時間繰り上げていますので、お気をつけください。

【投票所】

市内14個所。投票所は入場券に記載されています。入場券に記載されている投票所名・投票時間をよく確かめて、所定の投票所で投票してください。

さい。

★入場券は切り取らず、そのまま投票所へお持ちください。

【投票できる人】

次の2つの条件を満たす人が、この選挙において庄原市で投票できる人です。

- ①平成17年7月19日までに庄原市の住民基本台帳に登録され、引き続き庄原市に住所を有している人
- ②昭和60年11月7日までに生まれた人

そのほか、平成17年7月20日以降に広島県内の他市区町から庄原市へ転入届をされた人、また、平成17年7月6日以降に庄原市から広島県内の他市区町へ転出異動された人についても、異動前の住所地で投票できる場合があります。

この場合、現住所地の市区町長の発行する居住証明書が必要です。

【期日前投票】

投票日当日に次のような理由がある人は、10月21日(金)から11月5日(土)までの毎日8時30分から20時まで、市役所および各支所で期日前投票ができます。

- ◆投票日に仕事や親族の冠婚葬祭などの予定がある人
- ◆投票日にレジャーや買い物などの私用で投票区の区域外へ出かける予定がある人
- ◆病気やけが・妊娠などの理由で歩くことが困難な人
- ◆平成17年7月20日以降に広島県内の他の市区町へ住所移転(転入届された人)県内の住所移転1回に限られ、移転先の市区町長の発行する居住証明書が必要です。

【不在者投票】

庄原市以外(名簿登録地の市区町村以外)の市区町村の選挙管理委員会や病院・老人ホーム等における不在者投票については、従来どおり行うことができます。

身体障害者手帳などの交付を受けている方は、その障害の種類・程度により、また、介護保険法に定める要介護者で、被保険者証に「要介護5」と記載されている人は、「郵便による不在者投票」を行うことができます。

これら不在者投票について詳しいことは、選挙管理委員会へ早めにお問い合わせください。

【開票】

11月6日(日)の21時10分から、庄原市総合体育館で行います。

■問い合わせ

庄原市選挙管理委員会事務局
☎0824-73-1126
西城支所地域振興課
☎0824-82-2121

【明るい選挙を】

選挙は民主政治の基盤であり、有権者の意思が正しく反映されるよう、明るく公正に行われることが必要です。しかし、全国的には依然として選挙違反が数多く発生しており、政治風土や選挙風土の変革が求められています。この機会にもう一度、選挙に対する自分自身の意識を見つめ直し、決められたルールを守って違反のない明るい選挙を実現しましょう。



植え込みや車道には、多くのごみが...

きれいで住みよいまちを

ごみの放置 ポイ捨ては やめよう!



市では、豊かな自然や住みよい環境を守り、次代へ受け継いでいくために、ポイ捨てや不法投棄の防止、犬のふんの放置防止、野焼きの禁止など、環境に関する啓発を行っています。

7月1日からは、罰則規定を伴う「ポイ捨て等防止条例」を施行するなど、取り組みを進めています。
しかし、市内では依然として、ごみの散乱や犬のふんの放置、山や河川などへの不法投棄が見られ、またそれらに関する苦情も後を絶ちません。さまざまな制度や条例などでも一つの対策ではありませんが、環境美化のために最も大切なのは、一人ひとりの心がけと行動です。

今後も、広報紙などを通じた啓発活動を継続していきますので、自分たちのふるさとをきれいに、そして子や孫へ受け継いでいくためにも、皆さんのご協力をお願いします。

ごみは必ず 持ち帰って!

8月28日(日)、上野公園では「庄原夏まつり花火大会」が開催され、市内外から多くの人が集まりにぎわいました。



散乱するごみを拾いながら歩くシルバー人材センターの皆さん

ところが、翌朝の上野公園周辺には、ビン・缶やスナック菓子の袋、食べかすなどが大量に散乱しており、シルバー人材センターの皆さんが清掃されたところ、2トントラック2台分ほどのごみが集まりました。

自分で出したごみはきちんと持ち帰り、ごみ箱がある場合はきちんと捨てるなど、マナーを守ってイベントなど楽しい時間を過ごしましょう。

■問い合わせ
環境衛生課環境衛生係
☎0824-72-1398

庄原市合併記念事業

けんみん文化祭ひろしま'05

ミュージックフェスティバル

～合唱&洋楽の祭典～

県内の豊かな自然と伝統に育まれた文化の発掘、継承、育成を図るとともに、喜びと感動をわかちあうことのできる県民の祭りとして、「けんみん文化祭ひろしま'05ミュージックフェスティバル」～合唱&洋楽の祭典～を開催します。

とき 11月6日(日)
開場：9時
開演：10時

ところ 市民会館

入場料 無料

※出演団体の出演順や出演予定時間などは、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

庄原市ホームページ
<http://www.city.shobara.hiroshima.jp>

★同時開催
第18回しゅうばら菊花展
期間 10月28日(金)～11月10日(木)

■問い合わせ
生涯学習課社会教育係
☎0824-73-1188



観光で地域を活性化

広島県大型観光 キャンペーン実施中

商工観光課観光交流係 ☎0824-73-1178



大型観光キャンペーン11・12月の市内イベント

- 第18回しよばら菊花展 市民会館
10月28日(金)～11月10日(木)
- 田舎体験(草木染め、そば打ち) 帝釈峡山荘
帝釈峡もみじ紀行と東城町並みギャラリー
- 帝釈峡・東城市街地
10月27日(木)・28日(金)・31日(月)、
11月1日(火)・2日(水)・4日(金)・7日(月)・8日(火)
お通り 東城市街地
- 11月3日(木)
- そば祭り 遊YOUさろん東城
11月20日(日)
- 帝釈峡神楽競演大会 東城町老人福祉センター
12月4日(日)
- ウィンタイルミネーション 国営備北丘陵公園
12月2日(金)～25日(日)の金・土・日曜
- 学園ロードイルミネーション 高野支所周辺
12月上旬～1月中旬

【上野池の歴史を学ぶ「上野塾講座」】

どなたでもお気軽にご参加ください

- 上野池周辺の歴史 講師 武田祐三さん
とき 10月29日(土) 15時～16時30分
- 上野池周辺の植物 講師 伊藤之敏さん
とき 11月12日(土) 14時～15時30分
- ところ 上野公園内の紫水寮(公園内の無料休憩所)
- 主催・問い合わせ 庄原紫水会

☎0824-17210742(会長 定光大燈さん宅)

比和地

福田頭(ふくだがしら)の ボランティアガイド

福田頭は、吾妻山・比婆山連邦の南西に位置します。登山道沿いには、「一ノ滝」・「二ノ滝」・「三ノ滝」、そして「昇竜ノ滝」の4つの滝があり、ブナ樹林帯が広がる頂上付近からは、吾妻山、大山三瓶山などの雄大な光景を望むことができます。また、これからは秋にかけては、燃えるような紅葉が登山者を癒してくれます。

その福田頭で、登山客と一緒に登山し、福田頭の魅力に

ついてボランティアでガイドされているのが、麓の宿泊研修施設「かさべるで」を管理されている木元勲壮さんです。木元さんのお話では、登山客の中には、福田頭の雄大な自然と壮大な山の風景をもう一度見ようというリピーターが多いとのこと。皆さんも一度おいでください。

■問い合わせ

宿泊研修施設「かさべるで」
☎0824-18512230
比和支所地域振興課

☎0824-18513000
※お一人でガイドをされていますので、都合の悪い場合もあります。



▶ ボランティアガイドの木元さん
後ろに見えるのが福田頭



▲登山風景。頂上付近のブナ樹林帯

貴重な資料を寄贈 倉田百三資料保存会

「出家とその弟子」や「愛と認識との出発」などの作品で知られる郷土の文豪、倉田百三に関する資料を収集、保存されてきた「倉田百三資料保存会」は、このたび市へ全資料を寄贈されました。



寄贈品の目録を読み上げる国利さん(写真右から二人目)

百三を偲ぶ 多くの資料

8月3日(水)、保存会の皆さんは市役所を訪れ、会長の国利義勇さんから福永教育長へ、寄贈品の目録が手渡されました。

寄贈されたのは、代表作「出家とその弟子」や「愛と認識との出発」などを含む書籍162点、「庄原国民学校々歌」(現庄原小学校校歌)などの直筆原稿7点、また百三が愛用していた机、硯などの遺品7点など合わせて206点。

保存会では、1970年代から収集、保存活動が続けていきましたが、合併により広大となった新市の多くの皆さんに倉田百三について知ってもらおうと、このたび寄贈を決められました。

寄贈いただいた資料の大部分は、これまで田園文化センター内の倉田百三文学館に展示していましたが、館内を新装して引き続き展示しています。ぜひご来館ください。

■問い合わせ

田園文化センター
08244-172-11159



★倉田 百三 (くらたひやくぞう)

1891(明治24)年～1943(昭和18)年。
庄原市出身。
代表作に「出家とその弟子」や「愛と認識との出発」。
上野池畔は百三が療養・執筆した地で、当時を偲ぶことができます。



多くの作品や遺品が展示されている倉田百三文学館

広島県建築センター協会庄原支部 ボランティアで保育所設備を修繕

保育環境の 充実に感謝

大工や左官など建築に携わる職種の方で構成される広島県建築センター協会庄原支部では、毎年、ボランティア活動として市内保育所の施設修繕をされています。

今年も、6月25日(土)に庄原保育所、山内保育所の施設修繕をしていただきました。庄原保育所では、渡り廊下の屋根や穴のあいた壁板、またトイレのスクリーン木の取り付けなど、また山内保育所では、ひさしや柵、電気コードの取り付けなどを、皆さんで手際よく作業されました。

この活動では、これまで長年にわたって多くの保育所を修繕していただいております。子どもたちは、きれいに修繕された保育所で今日も元気に過ごしています。ありがとうございます。



丁寧に作業をしていただきました



安心 & 安全な 毎日のために

庄原消防署

0824-72-9911



身近なところから 防火に取り組む

庄原市の火災原因の上位を占めているのは、「たき火」や「火入れ」です。これから季節、落ち葉での焚き火やあぜ焼きなどの機会が増えることが予想されますが、ちよつとした油断や不注意が、大きな火災を招くこともあります。

このような火災を未然に防ぐために、火が消えるまでその場を離れない、消火用の水などを用意することなどが大切です。
また、火災で高齢者が死傷される事例が多く発生しています。万一火災が発生した場合には、無理に消火しようとせず安全な場所に避難し、火災であることを周りに知らせてください。

楽しい行楽 シーズンを

秋の行楽シーズンを迎え、家族や友人と旅行される方も多いと思います。旅館やホテルは、火災などへの安全対策が講じられています。が、万一火災が発生した場合に備え、旅館やホテルに着いたら、まず避難経路や消火器の設置場所などを確認しておきましょう。

また、秋はハイカーの火の不始末による野山での火災が多発します。タバコの投げ捨ては危険ですので、マナーを守り誰もが楽しい行楽シーズンを過ごしましょう。



的めがけて勢いよく放水

★まちの消防団

9月13日(火)に広島県消防学校で開催された、平成17年度広島県消防ポンプ操法競技大会に、庄原市消防団東城方面隊第2分団が庄原支部代表として出場しました。
この大会は、消火活動の迅速・確実性を競うもので、消防団の皆さんは、訓練の成果を発揮し、競技に取り組みました。

2005 国勢調査



調査票は 提出されましたか

10月1日現在で、全国一斉に実施される国勢調査。皆さんのお宅へは、9月下旬から調査員が伺って世帯ごとに調査票をお配りし、記入をお願いしています。

この調査票は、10月10日(月)までに、配布した調査員が受け取りに伺いますので、それまでにご記入の上、提出をお願いします。

調査には氏名や世帯構成

など個人情報記入する部分もありますが、調査員をはじめとする調査関係者には守秘義務があり、調査内容の秘密は保持されますので、ご安心ください。また、調査票はお配りしている封筒に封入して提出することもできます。

調査票が届いていない場合、また調査票の記入など調査についてご不明な点がございましたら、調査員または情報推進課広報統計係までお問い合わせください。

■問い合わせ

情報推進課広報統計係
0824-173-11159

★調査の結果は、少子高齢化対策やまちづくりにも生かされます。ご協力をお願いします。





ぐるり庄原 カメラ レポート



地域発のまちづくりで日本が変わる

自治振興区まちづくり講演会



「住んでいる人が楽しいまちにすることが大切」と国井さん

9月4日(日)、市民会館で自治振興区まちづくり講演会が開催され、会場には700人を超える多くの人が集まりました。

当日は、NHKの番組「プロジェクトX 挑戦者たち」の司会でおなじみの国井雅比古さんを講師として招き、「地域からの挑戦 地域おこしが日本を変える」と題して講演。国井さんは、番組づくりを通して多くの人と出会い感じたこと、さらにはまちづくりについて、「人や自然など、庄原には都会に無い多くのすばらしい資源があるように感じました。自分たちのまちは自分たちでつくるという気持ちで、地方から日本を変える大きな力となるはずですよ」と話されました。



小さな命を守るために

幼児救急法講習会



集まったお母さんたちに説明する入江さん(写真右)



親子で人工呼吸に挑戦

9月13日(火)、庄原駅舎内のひだまり広場で幼児救急法講習会が開催され、親子連れ50人以上が参加しました。

集まった参加者は、庄原赤十字病院の幼児安全法指導員である入江敬恵さんの、子どもの病気の特徴と発見の仕方、誤飲などへの対処法などの説明を、資料を見ながら熱心に聞いていました。

またその後は、万一の場合に備えて、人形を使った人工呼吸と心臓マッサージの講習も行われ、実際に体験した母親からは、「人工呼吸やマッサージを繰り返すのは、見た目よりも大変ですね」と感想が聞かれました。



死亡事故ゼロを目指す

セーフティ・アーチin高野

秋の全国交通安全運動の一環として、庄原市交通安全協会などが9月27日(火)、高野福祉保健センターで、秋の全国交通安全推進大会「セーフティ・アーチin高野」を開催しました。



安全を祈る湯川雪山太鼓

大会には、高野小学校の児童や地域住民など約100人が参加。高齢者の交通事故防止や夕暮れ時の交通事故防止、シートベルトの着用などの重点目標を確認し、「年末まで一人の死亡者も出さないよう、交通安全の輪を広げよう」などと呼びかけました。また、交通安全祈願のアトラクションとして湯川雪山太鼓が披露され、高野小学校と高野町老人クラブ連合会の代表が「事故に遭わない、起こさないことを決意します」と交通安全宣言をしました。



巨大なアーチが登場



自然の中を駆け抜ける

第10回水源の森ツーリングトライアルin比和

9月25日(日)、比和総合運動公園を中心に第10回水源の森ツーリングトライアルが行われました。このトライアルは、比和町内1周約70kmのコース内に設けられた30のセクションをそれぞれ自慢のバイクで挑むもので、県内外から約80人が参加。各セクションには、急な法面や川の岩場、高いコンクリートの段差など難所が数多くあり、思わず足をついてしまったり、転倒してしまったりと減点になってしまう選手が相次ぎました。しかし、参加者の皆さんはこの大会で比和の自然を満喫されたようで、「来年もぜひ開催してほしい」との感想も聞かれました。



急斜面をバイクでかけ上がる



豊かな自然いっぱいのコース



おじいちゃん、おばあちゃんに感謝をこめて

各地域で敬老会

総領地域では、9月中旬に、地域の高齢者の皆さんを招いて敬老会が開催されました。各会場では、集まったみんなで話をしてのんびりした時間を過ごしたり、神楽やゲームなどの楽しいイベントで盛り上がる姿が見られるなど、地域の特色が出た敬老会になりました。

9月10日(土)に総領文化会館で開催された下領家自治振興区の敬老会では、世代間交流や仲間たちとの話で盛り上がり、笑顔の絶えなかった高齢者の皆さんから、「次が楽しみじゃのお」など、来年を待ち遠しくしている感想も聞かれました。また開催した関係者も、皆さんが楽しく過ごされる様子を見て、元気をもらったようでした。



神楽を楽しむ皆さん



地域みんなでスポーツの秋

第32回三坂地区住民運動会

9月19日(月)、毎年恒例となった「三坂地区住民運動会」が、三坂小学校グラウンドで開催されました。今年で32回を数えるこの運動会は、地域と学校が一緒に行ってきた行事でしたが、平成16年3月に三坂小学校が休校となったため、地域で



早さと技術を競った縄ない

話し合った結果、自治振興区が引き継いで「地域運動会」として継続して行っています。

当日は、子どもからお年寄りまで約100人が参加し、「がんばれ」、「早く早く」などの声援が響く中、びん倒しや玉入れ、縄ないなどで汗を流しました。

地域の中で、大人から子どもまで参加できる行事の一つであるこの運動会。これからも、地域の宝として継続していきたいものです。



さあ、たくさん入れろぞ!



身近な川を通して環境を学ぶ

子どもの水辺教室

9月22日(木)、身近な川を通して環境意識を高めようと、備北地域事務所と市が主催する「子どもの水辺教室」が開催され、東城小学校の6年生が参加しました。

児童は、川の環境や生物についての説明を受けた後、東城町を流れる成羽川に入り、水生生物を採取・観察。淀みではヒルなどが見つかり、少し水が汚れているようでしたが、流れのあるところには「カワゲラ」や「ヒラタカゲロウ」、またこの辺りでは珍しい「アマカ」など、きれいな水の中

にいる生物が見つかり、成羽川は「きれいな川」という結果が出ました。最近では、子どもが川で遊ぶことが少なくなっていますが、川に生きる生物を知ることで川の環境についてしっかり学んだ一日となったようで、参加した日野原瞭くんは、「いろんな昆虫が取れて楽しかったです。川をきれいにするためにごみ拾いをしてみたい」と感想を話してくれました。



いろんな生き物がみつかったかな



新市を鼓舞する太鼓の響き

合併記念式典前夜祭



勇壮な太鼓の演奏

9月24日(土)、合併記念式典前夜祭を兼ねた第4回TAIKO交流会が、口和文化ホールヒューマンライツで開催されました。交流会には市内全域から9団体が参加して、和太鼓の演奏で交流。会場には、市内だけでなく広島市、遠くは兵庫県などからも来場があり、約400人が太鼓の演奏を楽しみました。

演奏会後に行われた交流会では、各団体が自己紹介をする中で、「これまでは、交流しても"よその太鼓"という気がしていたが、合併してとても身近に感じられました」という感想も聞かれました。



終了後にお礼を述べる参加団体代表者の皆さん



**身体障害者
定期相談(判定)会**

〔聴覚〕10月20日(木)
受け付けは13時~14時
ところ 備北地域事務所第3庁舎2階
※1週間前までに社会福祉課生活福祉係(☎0824-73-1166)へ相談・予約してください。

社会保険一日相談

とき 10月11日(火)、11月8日(火)
10時~12時・13時~15時
ところ 西本町 長岡本社ビル3階
内容 年金を中心とした社会保険全般の相談を受けます。
問い合わせ
三次社会保険事務所
☎0824-62-3107

心の健康相談

ストレス・対人関係の悩み、不眠やイライラ、思春期など

の心の悩みや問題について相談を受けます。

とき 10月18日(木)、11月10日(木)
受付時間 13時30分~14時30分
ところ 10月18日は備北地域保健所、11月10日は保健センター

※予約が必要です。
問い合わせ
備北地域保健所
☎0824-63-5181
(内線3341~3343)

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

●庄原地域
とき 10月11日(火)、25日(火)
13時30分~16時30分
ところ 庄原地域センター
●西城地域
とき 10月13日(木)、11月10日(木)
13時~16時
ところ 西城公民館
●東城地域
とき 10月6日(木)、11月4日(金)
9時~12時
ところ 東城地域センター
●比和地域
とき 10月20日(木)
13時30分~16時30分

ところ 比和文化会館
●総領地域
とき 10月11日(火)、11月10日(木)
9時~12時
ところ 総領健康福祉センター

総領健康福祉センター
問い合わせ
人権推進課人権推進係
☎0824-75-0301

ひきこもり相談

備北地域保健所が開催する相談です。ひきこもり状態にある人やそのご家族からの相談に専門医や保健師が応じます。秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

とき 11月10日(木) 13時30分~14時30分
ところ 備北地域保健所
申し込み 事前に左記まで予約してください。
問い合わせ
備北地域保健所保健課
☎0824-63-5181
(内線3342)
FAX 0824-63-5190

アルコール相談

アルコールに関することでお困りの方やその家族を対象に、精神科医などが相談を受

けます。秘密は守られますので、安心してご相談ください。
とき 10月25日(火) 13時30分~14時30分
ところ 備北地域保健所
申し込み・問い合わせ
備北地域保健所保健課
☎0824-63-5181
(内線3343)

調停相談会
財団法人日本調停協会連合会が主催する相談会です。
とき 11月8日(火)
10時~15時
ところ 三次市文化会館
相談事項 民事(不動産、登記、金銭、交通事故、損害賠償関係など)家事(相続、遺産分割、夫婦・親子関係、遺言など)
問い合わせ 広島地方裁判所三次支部庶務課
☎0824-63-5141

**社会保険労務士
無料相談会**
広島県社会保険労務士会三次支部では、社会保険(年金、健康保険、労災保険、雇用保険など)、労働問題(解雇、賃金、セクハラ、労働契約、労働条件など)に関する無料相談会を開催します。

相談に応ずるのは三次支部会員の社会保険労務士で、もちろん秘密厳守です。
とき 10月16日(日)
13時~16時
ところ 三次市福祉保健センター
☎0824-62-6357
問い合わせ
井上社会保険労務士事務所
☎0824-62-0323

**合併記念
第17回中国山地・豊かな自然写真コンテスト作品**
合併を記念し、市教育委員会が主催するコンテストです。テーマ 中国山地の自然と風物を対象としたもの
応募作品
●カラー・モノクロのいずれも、またデジタルカメラで撮影したものでも結構です。
●サイズは、キャビネ版以上四つ切(ワイド可)までとします。



「中国山地・豊かな自然写真コンテスト」応募票

題名			
氏名	フリガナ		
住所	〒 TEL() -		
職業	年齢	性別	
撮影年月日	年 月 日	撮影場所	
カメラ機種	レンズ	フィルム	
どちらかに○印	デジタル	スチール	
簡単なコメント			

●組写真でも結構です。
●未発表のものに限りません。また、作品は返却しません。
●作品には必ず応募票を添付してください。
応募締切 12月25日(日)必着
その他
●入賞作品のネガ、ポジまたはメディア媒体を提出していただきます。
●入賞作品に関する著作権は、主催者側に属します。
応募・問い合わせ
〒727-0301
庄原市比和町比和1119番地1 庄原市立比和自然科学博物館 中国山地・豊かな自然写真コンテスト係
☎0824-85-3005

食彩園しょうばら
ゆめさくら

【10月のイベント情報】☎0824-75-4411

●写真展「みんな同じ命だから」
犬や猫の写真を通じて、命の重さを考える写真展です。
期間 10月8日(土)~15日(土) 9時~17時

●ゆめさくら秋まつり
新米や豚汁の試食会、ミニ動物園など内容盛りだくさんです。
期間 10月8日(土)~17日(月)

●田舎の味作り講座
「日本ピラミッドで秋を楽しむ会」
とき 10月23日(日) 10時~16時
参加費 大人1,000円 小・中学生500円 定員 20人
※ゆめさくらへお集まりください。

献血のご案内 10月・11月の献血は、次のとおり実施します。皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
10月26日(水)	JA庄原本所	10時~11時
	県立広島大学 庄原キャンパス	12時~13時 14時~15時
10月31日(月)	西城保健福祉総合センター	10時~11時30分 12時30分~15時
11月4日(金)	高野福祉保健センター	10時30分~11時30分 12時30分~15時

■問い合わせ 保健医療課医療係 ☎0824-73-1155

11月の九日市
庄原地域の市街地で、毎月9日に開催される市です。

とき 11月9日(水) 10時~
ところ 中本町筋・下本町・中央通り
ぜひお越しください。

休日診療のご案内 10・11月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

	診療所名	電話番号
10月9日(日)	備北ななつか病院	0824-75-2070
	児玉(納)医院	0824-72-0147
	林 医 院	0824-72-0121
	戸 谷 医 院	0824-72-3131
	笠 間 医 院	0824-72-0535
	田 淵 医 院	0824-72-3900
11月3日(木)	庄原赤十字病院	0824-72-3111

※庄原赤十字病院については、救急患者に限ります。

●東城地域

	診療所名	電話番号
10月9日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255
	東 城 病 院	08477-2-2150
10日(月)	細 川 医 院	08477-2-0054
16日(日)	久 岡 医 院	08477-2-2626
23日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255
30日(日)	東 城 病 院	08477-2-2150
11月3日(木)	東 城 病 院	08477-2-2150
6日(日)	瀬 尾 医 院	08477-2-0023

犬・猫の引き取り 10・11月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

	日 程	場所および時間
庄原地域	毎月第1~第4火曜日 10月11日・18日・25日 11月4日・10日・17日・24日	東公民館………11時~11時10分 市役所車庫前…11時25分~11時35分 敷信公民館……11時50分~12時
	毎月第1・第3木曜日 10月6日・20日 11月20日	西城支所………9時~9時10分
	毎月第1・第3木曜日 10月6日・20日 11月20日	小奴可研修センター…9時40分~9時50分 東城文化会館…10時20分~10時30分
□和地域	毎月第4木曜日 10月27日・11月24日	□和支所………11時40分~11時50分
高野地域	毎月第4木曜日 10月27日・11月24日	高野支所………13時20分~13時30分
比和地域	毎月第4木曜日 10月27日・11月24日	比和支所………13時50分~14時
総領地域	毎月第2水曜日 10月12日・11月9日	総領支所………9時40分~9時50分

キャンプリーダー
研修会の参加者

備北オートビレッジでは、
キャンプをはじめとする野
外活動に必要な知識、技術に
ついて研修会を開催します。
研修終了後、希望者には備北
丘陵公園のキャンプリーダ
ーとして活躍していただき
ます。

とき 11月19日(土)・20日(日)、
12月10日(土)・11日(日)、平
成18年1月14日(土)・15日(日)
の全3回。 ※3回とも1泊
2日

募集内容 18歳以上の20人
参加費 初回4,500円(保
険料を含む)2回目以降3,
000円

申込方法 10月11日(火)10
時から電話で受け付けます。
締め切り
11月8日(火)17時

申し込み・問い合わせ
備北オートビレッジ
☎0824-72-8802

ホストファミリーと
ホームステイ家庭

しょうばら国際交流協会
が実施する青年招へい事業
のホストファミリーとホ

ムステイの受け入れ家庭を
募集します。

●青年招へい事業ホストフ
ァミリー

招へい国 中米諸国(エルサ
ルバドール・グアテマラ・コス
タリカ・ドミニカ共和国・ニ
カラグア・パナマ・ベリーズ・
ホンジュラス)

募集数 13家庭

ホームステイ期間(2泊3日)

11月25日(金)~27日(日)
応募締切 10月31日(月)

●広島大学留学生ホームス
テイ家庭

募集家庭 16~24家庭

ホームステイ期間(2泊3日)
11月18日(金)~20日(日)
応募締切 10月31日(月)

申し込み・問い合わせ
しょうばら国際交流協会事
務局(交流サロン内)
☎FAX0824-72-0075

灰塚ダムの「ダム湖名」

建設中の灰塚ダム上流に
できるダム湖の名称を募集
します。

応募方法 郵便(官製はがき
も可)、持参、FAX、電子メール(当
工事事務所のホームページ
上から応募できます)のいづ
れかで、①ダム湖名(漢字の

場合はふりがな)、②名称の
簡単な説明、③氏名(ふりがな)

④住所⑤電話番号を必ず記
載してください。

締め切り 10月31日(月)
※郵送の場合は締め切り当
日の消印有効。

※詳しい内容はお問い合わせ
してください。

応募先お問い合わせ
〒727-0021

庄原市三日市町667-1
国土交通省中国地方整備局
江の川総合開発工事事務所
総務課

☎0824-72-3301
FAX0824-72-8047

ホームページアドレス
http://www.cgr.mlit.go.jp/
gonokawa/

第4回マイ
イルミネーション
コンテスト参加者

庄原のまちを光で飾るマ
イルミネーションコンテ
ストを今年も開催します。

受付期間 11月15日(火)まで
※詳細は主催の庄原観光協
会へお問い合わせください。

庄原観光協会
☎0824-72-2121
商工観光課観光交流係

本町筋ぶらり
散歩ギャラリー

紅葉シーズンにあわせ、和
紙・木工芸、絵画、草木染め
など、東城の街並に彩りを添
えるギャラリーを開催します。

期間 10月24日(月)~11月8
日(火) 9時30分~19時30分

ところ 東城町東城 本町筋
問い合わせ 東城支所地域
振興課

☎08477-2-5211

平成17年度植樹祭

四季の森とうじょうでの
植樹と環境学習を行います。
とき 10月30日(日) 10時~
ところ 四季の森とうじょ
う(東城町塩原)

参加費

大人 1,000円
中学生以下 500円

問い合わせ

東城支所地域振興課
☎08477-2-5211

第6回庄原こども
ミュージカル

6回目を迎える今年、「ピ
ーターパン」を、子どもと大
人が力いっぱい演じます。体
中で表現し、笑顔いっぱい

☎0824-73-1178

講師 橋口 満さん(農業経
営指導スペシャリスト、税理
士)

問い合わせ 自治振興課自
治振興係
☎0824-73-1209

秋の薬草探検隊

とき 10月22日(土)・23日(日)

ところ 高原の家七塚(旧七
塚原青年の家 七塚町)
対象 20歳以上の人50名
参加費 8,000円

締め切り 10月16日(日)
申し込み・問い合わせ
高原の家七塚

☎FAX0824-75-2033

第2回就職ガイダンス
ひろしま

とき 11月2日(水)
13時~16時30分

ところ 広島サンプラザホール
対象 2006年3月大学・
短大・高専・専修学校卒業予
定者および2005年3月
大学等未就職卒業者

内容 企業個別ブースでの
面接会
問い合わせ 広島県若者就
業サポートセンター
☎082-224-1032

第5回こどもまつり開催

とき 10月30日(日)
10時30分~14時30分

ところ 高原の家七塚(庄原
市七塚町)

内容 ダンス、銭太鼓などの
ステージ発表・ときどきわく
わくかくれ家づくり・つくつ
てあそぼう(どんぐり笛など)

・おいしいバザーでおなかを
満たす

・おいしいフリーマーケット
★出店者を募集中

動物とのふれあい
(ヤギの乳搾り体験、ミニプラ
もいるよ)

問い合わせ
児童福祉課子育て支援係
☎0824-73-0051

教育課
☎0824-82-2445



第23回ふれあい
東城まつり

とき 10月22日(土) 12時~
10月23日(日) 10時~

ところ 東城小学校、東城公
民館、東城町老人福祉センター

内容
●広島県警音楽隊や広島ジ
ュニアマリンバンドアンサンブ
ルの演奏

●松本毬歌謡ステージ、『涙
をふいて』の三貴哲成バンド
ライブ

●ちびっこすもうやふれあい
の夕べ、お楽しみ抽選会など

問い合わせ
東城支所地域振興課
☎08477-2-5211

自治振興区まちづくり
実践リレー講座

●第6回「自治振興区と税
務」税の扱いについて」
とき 10月29日(土) 14時~
ところ 東城支所

自衛隊生徒採用試験

応募資格
中学校卒(見込含)
17歳未満の男子

受付期間
11月1日(火)~
平成18年1月10日(火)

試験日
■1次試験
平成18年1月14日(土)
■2次試験
平成18年1月27日(金)~30日(月)

問い合わせ
自衛隊三次募集事務所
総務部総務課行政係
☎0824-62-0350
☎0824-73-1123

第9回出会いと
ふれあいフェア

民謡、民踊、太鼓などさま
ざまな芸能活動の発表の場
です。

とき 10月22日(土)

ところ ウイル西城(西城町)
問い合わせ 西城支所西城

みよし技能祭

とき 11月2日(水)

10時30分~14時30分
★実習作品の展示即売は12
時30分から

ところ 広島県立三次高等
技術専門学校

内容 実習作品の販売や公
開実習、体験コーナーなど
問い合わせ 広島県立三次

「ふれあい市長室」
の日程

11月からは各支所でも実施します。

とき 10月8日(土)・11月12日(土) 9時~12時
10月・市役所本庁舎2階市長室
11月・西城支所

※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事
業担当課へお願いします。

問い合わせ 情報推進課広報統計係
☎0824-73-1159

ベンチャーフォーラム みよし

広島労働局、ハローワークなどが主催する特別講演会と合同就職面接会です。

とき 10月14日(金)
特別講演会：10時30分〜
合同就職面接会：13時〜

ところ 三次グラウンドホテル(三次市)
参加費 無料
講師 有限会社SOHO総研 牛来千鶴さん

問い合わせ ハローワーク庄原
☎0824-72-1197

第16回農大祭

学生が農産物の即売などを通して、日ごろの学習成果を発表します。また、地域のみなさんとの交流を深めるため色々なコーナーも準備してありますので、ぜひお越しください。

とき 11月12日(土)・13日(日)
ところ 広島県立農業技術大学校
主な内容 農産物即売、バザー、ステージ(神楽、琴・尺八演奏)など

問い合わせ 広島県立農業

技術大学校教務課
☎0824-72-0094

第2回トップ

マネジメントセミナー
とき 10月27日(木)

基調講演：15時〜 研修：16時〜
ところ ふれあいセンター
問い合わせ しょうばら産学官連携推進機構(担当：加藤)

☎0824-73-0220
FAX 0824-72-0075
E-mail salonskobara@poem.ocn.ne.jp



庄原市奨学金制度 説明会

市が行う、高校、大学、専門学校などの生徒・学生を対象とした奨学金事業の制度説明会を開催します。

開催日程および会場
●10月26日(水)
19時〜 比和文化会館
19時30分〜 高野支所
●10月27日(木) 19時〜
西城公民館、総領文化会館



広島県の最低賃金

10月1日から、広島県の最低賃金が649円に変更された

県の相談機関

●備北地域事務所
☎0824-63-5181
健康に関する相談・保健課
環境汚染・廃棄物処理に関する相談・環境管理課
建築物に関する相談・建築課

●国の機関

・三次労働基準監督署(労働安全衛生法、健康管理手帳、健康診断、労災補償など)
☎0824-62-2104
●その他の機関
・広島産業保健推進センター(石綿による健康被害を受けた労働者およびその家族からの健康相談)
☎082-224-1361

お詫びと訂正

9月号の17ページカメラレポートの記事に一部誤りがありました。次のお詫びと訂正し、深くお詫び申し上げます。
(誤) 竹本強太郎さん
(正) 竹元強太郎さん

古くなった電話帳の回収にご協力を

NTT西日本では、11月上旬から新しい電話帳を各家庭にお届けします。古い電話帳については、回収した後リサイクルして新しい電話帳へ再利用しますので配達員にお渡しいただきますよう、ご協力をお願いします。

詳しいお問い合わせください。
問い合わせ タウンページセンタ

☎0120-506-309
火薬類取締法および高圧ガス保安法に係る事務の権限移譲
10月1日から、火薬類取締

石綿(アスベスト)に関する相談窓口

石綿による健康被害が全国で報告されています。国や県では、次のとおり相談窓口を設けていますので、ご利用ください。

市民ギャラリー「アート多愛夢」BOX情報
11月の展示案内
●刺子を楽しむ会(作品数50点)
9日(水)~12日(土) 10時~17時
※入場無料
●問い合わせ
庄原市文化協会事務局 TEL0824-72-4347(白川)
教育委員会生涯学習課 TEL0824-73-1188
商工観光課商工振興係 TEL0824-73-1179

市税 水道料金 下水道使用料
納付は 便利な口座振替で
手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
◎税務課収納係 ☎0824-73-1145
◎下水道課管理係 ☎0824-73-1175
◎水道課業務係 ☎0824-73-1197

発行/平成17年10月5日
編集・発行/庄原市情報推進課
〒727-8501
広島県庄原市中本町一丁目10番1号
☎0824-73-1159
印刷/平和印刷㈱
再生紙使用 PRINTED WITH SOYINK

人の動き(8月末日現在)
【住民基本台帳登録人口】
○人口 44,000人
男 20,879人
女 23,121人
○世帯数 16,261世帯
【外国人登録人口】
○人口 299人

備北丘陵公園 だより
【秋のグラウンド・ゴルフ大会開催】
園内のつといの里にあるグラウンド・ゴルフコースで、11月24日(木)に大会を開催します。グラウンド・ゴルフは子どもから高齢者の方まで気軽に楽しめるスポーツで幅広い年齢層から人気があります。
芝生のコースでグラウンド・ゴルフを楽しもう!

まるごと「しょうばら」

見る・食べる・遊ぶ



高野地域

県内一の生産量を誇るりんごやだいこんなど、県内有数の農業地帯である高野。新鮮野菜が並ぶ産直市場や、りんご農家の直売店がにぎわいをみせています。また、地元の食材が楽しめる飲食店など、食欲の秋を満喫できるスポットもいっぱい。



毛無山ラッキー牧場

「限りなく自然に近いミルクづくり」をモットーに、乳牛および短角和牛約120頭を周年放牧で飼育しています。120ヘクタールという広大な放牧風景は、広島にいなながら北海道を感じさせます。



あおぎだに 大鬼谷オート キャンプ場

ログハウスや露天風呂など、充実した設備を備えた県内最大級のオートキャンプ場です。川遊びやマウンテンバイク、冬の雪中キャンプも楽しめ、四季折々のアウトドアライフが満喫できます。

■問い合わせ ☎0824-86-2323



アップルパイ

新鮮なりんごを1ホールに2個ほど使った、高野ならではの贅沢なアップルパイ。あっさりしているながら、風味豊かなしっとりした食感が特徴。



たかの温泉「神之瀬の湯」

「肌がすべすべする」など評判の温泉です。備北材を使用した木の香り漂う温泉施設は、利用者に安らぎと癒しを与えてくれます。

■問い合わせ ☎0824-86-2251



高野りんごジュース

高野産の完熟りんごをまるごとギュッと搾った、ストレート果汁100%のジュースです。1リットルに、りんご約6個分を使用した本物の味。市内各所で販売しています。



グリーンサーキット高野

レジャースポーツとして人気のグラウンドゴルフや中国地方では唯一のレーザーガンゴルフが楽しめます。

■問い合わせ ☎0824-86-2652